

令和 6 年第 12 回 須崎市教育委員会議事録

1. 日 時；令和 6 年 11 月 22 日（金）午後 1 時 29 分から午後 2 時 7 分まで

2. 場 所；須崎市総合保健福祉センター 3 階 研修室

3. 出席者等；教育長：竹内 新

委 員：尾崎 恵子、徳久 和宏、松岡 健夫、

事務局：教育次長 西村 浩司

生涯学習課長 福本 博一

子ども・子育て支援課長 市川 ゆかり

学校教育課長 中西 司

学校教育課長補佐 松本 佐和

1 開会

2 議事録の承認、署名

各委員に対して、配付議事録（案）を確認後に、署名を依頼する。

3 行政報告（教育長から報告）

【総合教育会議について】

- ・先日 11 月 18 日に今年度初めての総合教育会議を開催し、市長にお越しいただいた。
- ・議題は 2 件で、図書館等複合施設についてと、教育変革ビジョン「Make “IT” Fun」についてであった。
- ・市教委からの説明と教育委員の質問や意見を市長が聞いてくださっている印象だった。
- ・総合教育会議の本来の位置付けについて、一言説明させてもらいたい。総合教育会議は、平成 26 年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で設置することとされたもので、「首長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議及び調整の場」という位置付けとなっている。
- ・どんな議題を扱うかも書かれており、
 - ・大綱の策定に関する協議・教育を行うための諸条件の整備
 - ・その他重点的に講ずべき施策
 - ・児童、生徒等の生命又は身体に被害が生じるような緊急の場合の措置となっている。それに基づいて 2 議題が選ばれていた。
- ・法律上、市長が会議を開催し、構成員を招集するとなっているが、地方自治法の規程により教育長に委任可能とされていることから、本市では、教育委員会事務局でその事務を行っている。

【教育変革ビジョン「Make ” IT” Fun」を踏まえた行事について】

- ・11 月 16 日に細田教育政策プロデューサーによる教育講演会を開催し、同日の午前午後と同内容で開催し、2 回合わせて参加者約 80 名だった。
- ・来場された方の感想では、心に刺さる内容だったとのことだった。

- ・ 11月9日に今回57回目を数える中学生弁論大会が開催され、8名が参加した。「自ら学ぶ」、「個別最適」といった教育変革ビジョンの観点からも有意義と考える。
- ・ 11月19日に Susaki イングリッシュ・オラトリカル・コンテスト 2024 が開催され、昨年までの英語暗誦大会を変えたもの。小学校は6年生21名、中学校は1年～3年、24名が参加した。発表は一定できており、聞き取りを伸ばしてほしいという感想をもった。

【図書館まつりについて】

- ・ 11月9日と10日に、市立図書館において、「図書館まつり in 須崎」が行われた。9日の絵本作家のとよたかずひこ氏による講演会は、約80名の参加者があった。
- ・ 保育士等かなり参加してくれていた。

【児童手当の拡充について】

- ・ 児童手当の拡充を決定しており、支給対象、支給額が変更となっている。
- ・ 支給月についても従来の年3回支給から、年6回偶数月での支給と変更している。来月12月分から拡充後の手当額で支給することとしている。
- ・ 子育て医療応援事業についても、令和6年10月から助成対象を18歳になった後の最初の3月末までと、拡充している。

【須崎小学校公開授業について】

- ・ 須崎小学校において、来週、11月25日の14時45分から15時30分まで、複線型授業の研修会が公開で行われる。
- ・ 教育変革ビジョンの核心となる部分についてのチャレンジで、試しにやってみるという姿勢を、市教委としても高く評価している。教育委員のみまさまもぜひ一度ご覧になっていただきたい。

4 議事

議案第 47 号	須崎市養育支援ヘルパー派遣事業実施要綱の全部を改正する訓令について	同意
----------	-----------------------------------	----

【質疑】

議案第 47 号 (尾崎委員) 支援対象者はどれくらいいるのか？ (市川課長) 人数としては 20～30 人はいない。実際は数家庭が複数回利用されている。 (松岡委員) 4、5 件程度か。 (市川課長) それくらいである。 (徳久委員) 受託事業者はどのような団体か。 (市川課長) 2 つ業者がおり、須崎市社会福祉協議会と土佐市所在の事業者がある。 (松岡委員) 現在支援している家庭で主に支援している内容はどんなことがあるのか。 (市川課長) 4 条の(1)にある家事に関する支援となる。

(松岡委員)このようなことができない家庭があるから支援が入るのか。

(市川課長)家庭で子育てをしながらは大変であるということでヘルパー事業が入っている。

(徳久委員)支援が必要な理由は家族の病気なのか、仕事が忙しいのか、ネグレクトなのかどのような感じか。

(市川課長)事業の対象者は第3条にある(1)から(3)に当てはまる者になる。その中で様々な事情で派遣を実施しなければならないということで実施している。

(松岡委員)半年で30日なら週に1回くらい利用できるくらい。それで足りるのか。

(市川課長)30回で限度となる。

(教育長)際限なくは難しい、必要によって延長はできる。

(松岡委員)内容によって利用回数が違っていれば使い勝手がいいのではないかな。毎日必要がある人もいると思う。

(教育長)改正し、運用してみてということであろうと思う。

5 その他

なし

6 閉会

次回の定例委員会を令和6年12月27日(金)午後1時30分から開催することを確認し、閉会となる。